

## CBAP®合格体験記

株式会社富士通マーケティング  
関 俊之

2013年9月30日にCBAP®日本語CBT試験に合格しました。私の体験が、今後受験される方の参考になれば幸いです。

### 1. 受験までのスケジュール

4月22日・23日	EEP研修1回目受講、学習開始
8月22日・23日	EEP研修2回目受講
8月27日	出願
9月16日	審査結果通知
9月18日	試験予約
9月30日	受験

### 2. 受験対策

#### (1) EEP研修受講

4月22日・23日、8月22日・23日ともにエディフィストラナーニング社主催のBABOK研修を受講しました。本研修では、BABOK®ガイドの要点の解説を受け、問題演習に取り組むものでした。CBAP®の対策問題が広く流通していない中で、本研修の演習問題は有意義であり、BABOK®ガイドの重箱の隅をつつく出題への対策が必要という意識が醸成されました。

#### (2) 書籍による学習

4月下旬から9月下旬まで、以下の書籍を用いて学習しました。

##### ① BABOK®ガイド Version 2.0

重要箇所や特徴的な記述箇所にアンダーラインを施しながら、3回程度精読しました。また、各タスクのインプット/アウトプットの全体関連図（一枚物）を作成し、全体観を把握しながら理解を深めていきました。

##### ② Business Analysis 教科書 BABOK® CCBA®（翔泳社刊）

受講したEEP研修講師の著書であり、研修受講時に配付されました。BABOK®ガイドの要点をまとめたものであり、主に問題演習用として活用しました。本書の演習問題を90%程度正答できるまで学習しました。

③ CBAP®/CCBA® ビジネスアナリシス認定 スタディガイド 上下巻(トリフォリオ刊)

BABOK®ガイドを実務と照らし合わせながら解説している書籍です。ビジネスアナリシス実務を経験していない人が、イメージを湧かせるのに有用と感じました。BABOK®ガイドの用語はシステム構築の用語と差異があるため、システム構築に普段携わっている方は、BABOK®ガイドを読む前に本書を読むことを推奨します。

また、本書の演習問題は、BABOK®ガイドには直接記載のない実務からの出題や BABOK®ガイド巻末の用語集からの出題などがあり、試験対策範囲の視野を広げるきっかけとなりました。本書の演習問題を 90%程度正答できるまで学習しました。

### 3. 出願

EEP 研修にて、出願フォームの入力方法の説明を受けていたため、それを参考に入力していきました。業務経験時間入力における業務種類(チェックボックス)選択においては、プロジェクトマネジメント関連業務を選択しないように注意し、安全を見て BABOK®ガイドのタスク名と同じ業務を選択することを心掛けました。

出願から約 20 日後に審査結果の通知を受け、プロメトリックでの試験予約を行いました。

### 4. 受験

試験会場では、荷物は全てロッカーに預けることになっており、持ち込み物がないかチェックを受けます。その後、案内された座席の PC に向かい、試験を開始します。

画面には、英語と日本語 2 つの表記による出題文がありますが、日本語翻訳の精度が高いため、英語の出題文を読まないで解けないという問題はありませんでした。

試験終了後、簡単なアンケートに回答し、その後、試験結果が画面上に表示されません。なお、試験結果には合格の旨のみ表示され、スコアは把握できませんでした。試験会場退出時には試験結果のプリントアウトを受領しました。

翌日には IIBA の認定者リストに登録され、翌月に認定キットが送付されてきました。

### 5. 今後受験される方へのアドバイス

自身の受験経験を振り返り、僥越ながら、合格に向けてのアドバイスを述べます。

#### (1) ビジネスアナリシスは、システム構築とは全く別物と考える

ビジネスアナリストの作業範囲は、システム構築のような設計・実装作業は範囲外であり、さらに、プロジェクトマネージャとも別の役割であるため、システ

ム構築に普段携わっている場合には、実際に経験しているシステム構築プロジェクトに当てはめようとしてはいけません。BABOK®ガイド上の用語の意味をシステム構築で使う同じ単語の意味と捉えてしまうと混乱を招きます。

(2) 各タスクのビジネスアナリシスにおける位置付けを理解する

BABOK®の個々のタスクはウォーターフォールのように順番を定めているわけではないので、1番目のタスクのアウトプットが2番目のタスクのインプットになるとは限りません。様々なタスクとのあらゆる関連可能性として記述されているため、ただやみくもにタスクのインプット、テクニック等を全て覚えるには苦勞するはずです。

まずはタスクの目的、知識エリアでの位置付け、内容に関する理解を深めることに注力することが重要です。そうすれば、必要なインプット、使用するテクニック等が想起され、タスクの関連が自ずと見えてくるはずです。

(3) 登場タスクが限られるインプット、テクニックを確実に覚える

インプット、テクニックの中には様々なタスクで何回も登場するものがある一方で、登場するタスクが限られるものがあります。登場タスクが限られるインプット、テクニックを確実に覚えておくことで、試験の際の、選択肢を読む時間の減少、選択肢の絞込みが可能になります。

## 6. 最後に

私が受験するにあたって、既に CBAP® に合格された方の合格体験記が、貴重な情報源であり、大変役立ちました。この場を借りて、御礼申し上げます。ありがとうございました。